

2023年度

子ども虐待予防のための基礎知識

子どもと保護者に関わる全ての人のため

APCA「子ども虐待」**基礎講座**のご案内

会場開催 開催日：7月1日・8日・22日
(3日間7講座で1コース)
会場：大阪府社会福祉会館403

録画オンデマンド配信もします

配信予定：8月10日～9月29日



プログラム 講師

詳しくは裏面を
ご覧ください

- I 虐待はなぜおこるのか：小杉恵氏（大阪母子医療センター子どものこころの診療科主任部長）
- II 子どもの健やかな発育発達：加藤良美氏（大阪府中央子ども家庭センター診療長）
- III 虐待かなと思ったら：神田真知子氏（本協会企画専門員、元大阪府子ども家庭センター所長）
- IV 子ども虐待についての法的仕組み：中村善彦氏（中村善彦法律事務所 弁護士）
- V 子ども虐待とアタッチメント：遠藤利彦氏（東京大学大学院教育学研究科教授）
- VI 子ども虐待とトラウマ：亀岡智美氏（兵庫県こころのケアセンター副センター長）
- VII 虐待問題にとりくむ人のために：鷲山拓男氏（とよたまこころの診療所長 精神科医）

対象者

- ・子どもと保護者に関わる活動をされている全ての方
- ・子どもの問題・虐待予防に関心のある方

定員

- ①会場受講：50名（録画オンデマンド配信の視聴もできます）
- ②録画オンデマンド配信の視聴受講のみ：200名

申込み受付期間

- ① 2023年5月12日(金)13時～6月23日(金)13時
 - ② 2023年5月12日(金)13時～8月9日(水)13時
- ①②とも、定員になり次第締め切ります。

7講座通しの 受講料

①②とも、APCA正会員：4,000円 賛助会員・非会員：12,000円

申込方法

右の①又は②のQRコードの読み込み又はURLで、申し込みサイトpeatixから申し込んでください。ホームページからも同じ方法で申し込めます。参加には事前の申込が必要です。所定の方法での申込手続きが難しい場合は下記までお問合せください。



①【会場受講+録画視聴】
申込QRコード
申込URL <https://2023-kiso-live.peatix.com>

②【録画配信のみを受講】
申込QRコード
申込URL <https://2023-kiso-rokuga.peatix.com>



主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

電話：06-6646-4858

Email：manabi-i0189@apca.jp

APCA=The Association
for the Prevention
of Child Abuse & Neglect

APCA『子ども虐待基礎講座』
ご案内



この講座は、子どもと保護者に関わるすべての立場の人に知っておいてほしい虐待予防についての基本的な内容の講座です。社会のすべての人が子ども虐待について共通した理解を持ち、子ども虐待をうみださない世の中を目指すために開催します。

講師の先生は、ご自身の日々の実践や皆様からの感想をもとに毎年講義内容を工夫してお話されます。また今回は子どもの発育発達についての講座を加えました。そのため最近関心をもたれた方や活動を始められた方はもちろん、すでに支援者として実践されている方もご自分の知識の整理や他の領域について学ぶ機会としてぜひご活用ください。

会場開催でのプログラム

3日間 7講座 1コース

会場：大阪府社会福祉会館 403 (オンデマンド配信もします)

〒542-0012大阪府中央区谷町7丁目4-15 TEL:06-6762-5681

※ 開場は講演開始の30分前

※ 事前申し込みが必要です。会場での当日受付はしません。

【実施日】	【時間】	【講座番号】	【テーマ】	【講師】
7月1日(土)	13:00～14:30	III	虐待かなと思ったら	神田 眞知子 氏 (元大阪府子ども家庭センター所長) 亀岡 智美 氏 (兵庫県こころのケアセンター副所長)
	15:00～16:30	VI	子ども虐待とトラウマ	
7月8日(土)	10:00～11:30	V	子ども虐待とアタッチメント	遠藤 利彦 氏 (東京大学大学院教育学研究科教授) 小杉 恵 氏 (大阪母子医療センター子どものこころの診療科主任部長) 加藤 良美 氏 (大阪府中央子ども家庭センター診療長)
	13:00～14:30	I	虐待はなぜおこるのか	
	15:00～16:30	II	子どもの健やかな成長発達	
7月22日(土)	13:00～14:30	IV	子ども虐待についての法的仕組み	中村 善彦 氏 (中村善彦法律事務所 弁護士) 鷲山 拓男 氏 (とよたまこころの診療所長)
	15:00～16:30	VII	虐待問題にとりくむ人のために	

昨年の参加者の感想から・・・

虐待は誰がどんな意図でその行動を行ったかに関わらず、子どもにとって有害であれば、それは虐待と言える、自分の認識が明確になりました。虐待について広く知識を得ることができました。(心理士)

法的な理解は適切な支援につながるとわかった。推測や経験からの対応ではなく、評価基準や虐待の証拠となるものから適切な判断をすることが求められる。法律は支援の画一化ではなく支援に結びつけるためのものであると感じた。(保健師)

虐待という問題について、親子間の問題だけでなく、われわれを含む社会の問題であるということ学んだ。リスクがあるとわかっていてもわれわれが認めない、関与しないというスタンスではなく、社会全体で、指導ではなく支援を行うことで、親の孤立感をなくし、相談できるという実感を得られる環境を作り出していくことが大切であると感じた。(施設職員)

虐待の実態や背景などの全体像を始めて聞いて、深めていく基礎ができた。(スクールソーシャルワーカー)

虐待はテレビのニュースで知る自分には関係のないことだと思っていたが本当に身近なことなのだと思った。これから施設でその子の人生に関わるという気持ちで支援をしていきたいと思った。(施設職員)

アタッチメントについても知りたいテーマでしたので、勉強できてありがたかったです。子どもの虐待は関係性の障害、混乱ということが特に印象的でした(ケースワーカー)

この講座を聞き、トラウマの支援の着地点は、自分の安全を守れる人になってもらうことではないかと考えました。自分に起きた出来事に気づき、整理し、自分は安全ではなかったことを知ること、同時に、心理教育で知識を身につけたり、コミュニケーション力を身につけたりすることで、自分の安全を守り、虐待の連鎖や次の被害を防ぐことにつながるのではないかと感じます。日々の支援の中で大きな指針として持っておきたいと感じました。(心理士)



主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

電話：06-6646-4858

Email：manabi-i0189@apca.jp

APCA=The Association
for the Prevention
of Child Abuse & Neglect